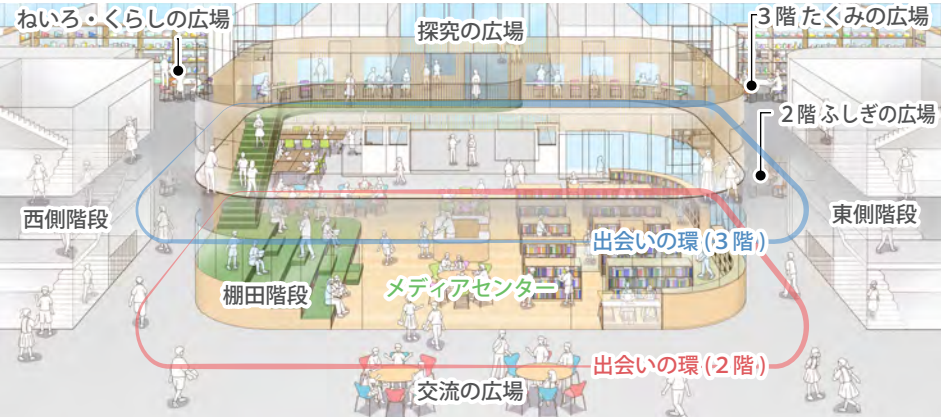


評価テーマ等に対する技術提案（公表用）

評価テーマ1「主体的で深い学びを実現することができる施設」、評価テーマ2「地域と連携・協働できる施設」、評価テーマ3「湯来地域の豊かな自然になじむ木質感あふれる施設」及びその他、設計上の配慮事項等（評価テーマに対する内容を除く。）に対する技術提案（1／2）

1 魅力を最大化する一体的学習空間

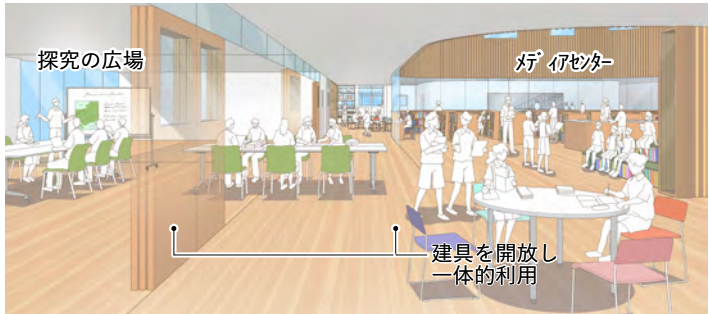
「出会いの環」とメディアセンターを骨格とした一体的学習空間



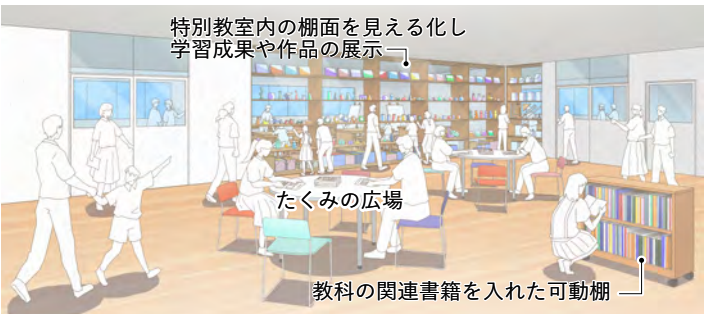
みんなが触れ合う「交流の広場」



主体的・対話的で深い学びを促す「探究の広場」



発見がいっぱい「くらし・たくみ・ふしぎ・ねいろの広場」



10 音楽教室

エレベーターに近接配置し、多目的教室や体育館での演奏のための楽器運搬が行いやすい計画。

20 メディアセンター

内装にふだんに木を使用し、木に包まれた場。みんなで読む、ひとりで読むなど、自分のお気に入りの居場所として読書。

30 体育館への渡り廊下

子どもたちの安全を最優先し、車両動線と交差せずに、体育館へ移動できる動線を確保。

40 児童クラブ

駐車場に隣接し、送り迎えが行いやすい校舎西側に配置。玄関は学校のフェンス外に配置し、別管理が行いやすい計画。

50 給食配膳室

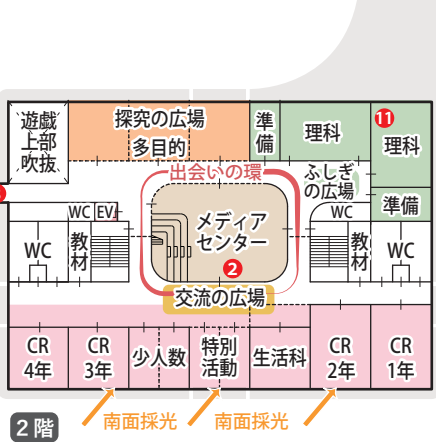
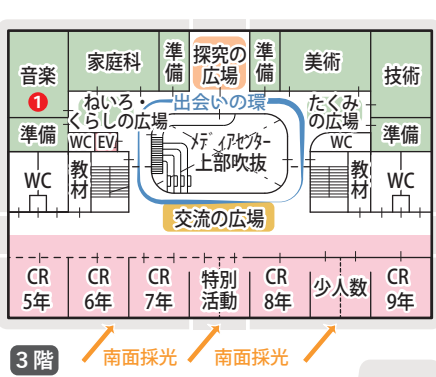
駐車場に面して配置。エレベーターに近接しスムーズな給食配膳。

60 ふれあい広場

昇降口とは別の専用入口を確保し、登校しやすさに配慮した計画。

70 保健室

グラウンドや体育館から近い配置とし、運動時のけがにも即座に対応。救急車両の寄付き可能。



90 昇降口「ふるさとの路」

正門のある北側からの登下校動線、グラウンドのある南側への動線、この2つの動線を南北につなぐ、ゆとりある昇降口を校舎中央に配置。東西の給食動線への配慮。ふるさとのである湯来の自然をモチーフとした内装計画。

100 ベンチ

学校内に多くのベンチを設置し、交流のきっかけを生むとともに、自分の居場所をつくる。

110 理科教室

小・中学校用の2室を隣接配置し、合同授業の展開が可能。

120 掲示コーナー

階段や共用部の壁面には掲示面を多く設け、学校中が子どもたちの成果の展示スペース。

130 事務室

正門やみんなの広場を視認できる配置とし、来校者の確認や子どもたちの見守りが可能。

140 特別支援学級

見守りのしやすい1階管理ゾーンに隣接して配置。日照環境が安定し、自然の景観を望むことのできる東側に配置。

150 職員室

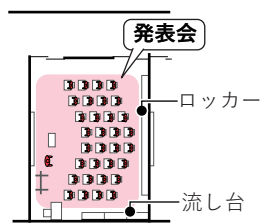
南側に配置し、登下校やグラウンド、遊び庭での活動を見守る。休養ラウンジを設け、教職員の快適な職場環境を創出。

2 多様に変化していく学びに対応する創造的なクラスユニット

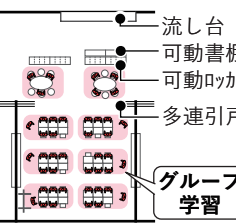
柔軟な変化を可能とする、室配置と可動建具・家具

Type A. 基本形

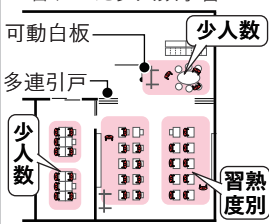
前期課程 1,2 年「総合学習型」
教室が学校生活の中心となる総合学習型



中期課程 3～7 年「OS 型」
グループ学習や社会性を身に着ける異学年合同学習

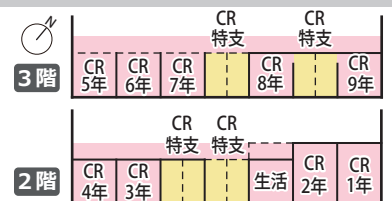


後期課程 8,9 年「少人数学習型」
学習内容の高度化、個別化に合わせた少人数学習



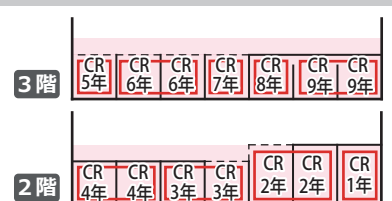
Type B. インクルーシブ教育

・少人数教室や特別活動室を特別支援学級に転用することで、2、3 階にある普通教室との学年のまとまりを持った配置としつつ、室中央のスライディングウォールを活用し、支援の種類によるエリア分けが可能な計画。



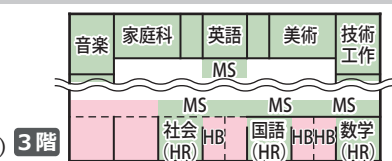
Type C. 学級数の増に対応

・普通教室と連続した位置に、他室への転用をが可能な特別活動室、少人数教室、生活科室を設けることで、将来的な学級数の増減に柔軟に対応。（最大 5 学級増に対応）

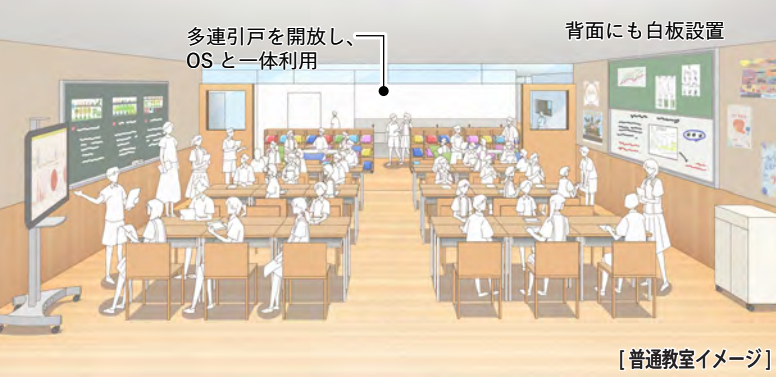


Type D. 教科センター方式

・7～9 年生については、下記室を転用することで、教科センター方式としても運用可能。
普通教室・探究の広場⇒教科教室
少人数教室・特別活動室⇒ホームベース (HB)
オープンスペース⇒教科メディアスペース (MS)



学びやすく、使いやすい教室・オープンスペース(OS)



〔普通教室イメージ〕

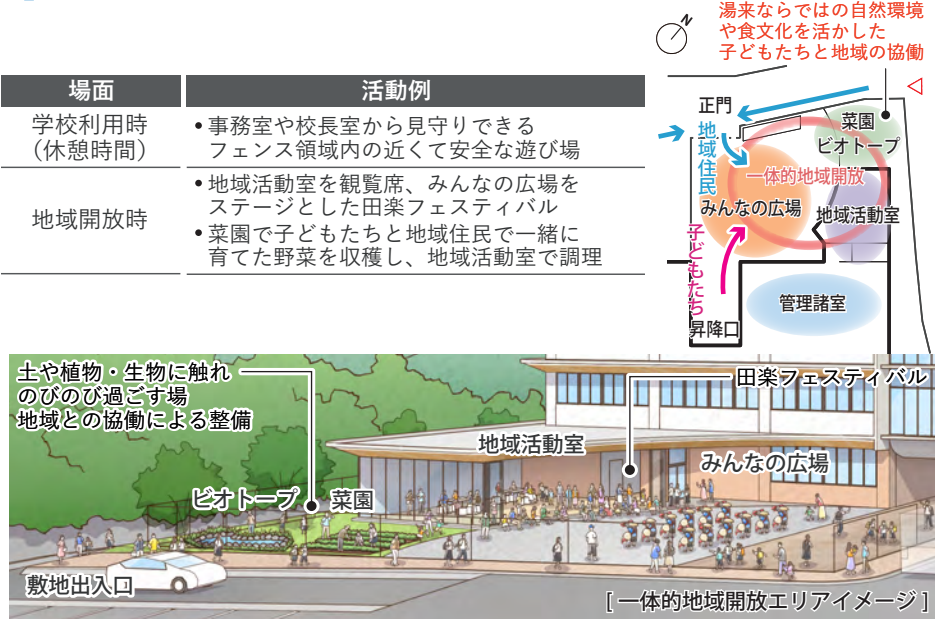
特定結果

第一特定者

評価テーマ等に対する技術提案（公表用）

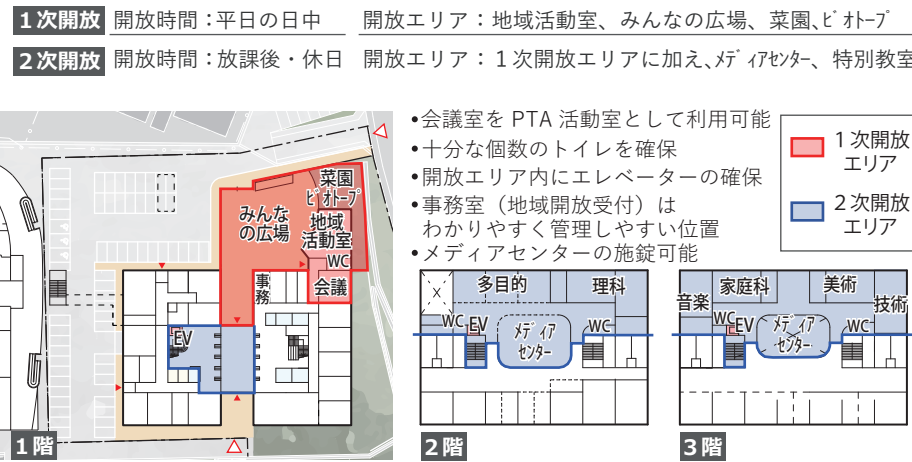
評価テーマ1「主体的で深い学びを実現することができる施設」、評価テーマ2「地域と連携・協働できる施設」、評価テーマ3「湯来地域の豊かな自然になじむ木質感あふれる施設」及びその他、設計上の配慮事項等（評価テーマに対する内容を除く。）に対する技術提案（2／2）

1「みんなの広場」を中心とした一体的地域開放エリア



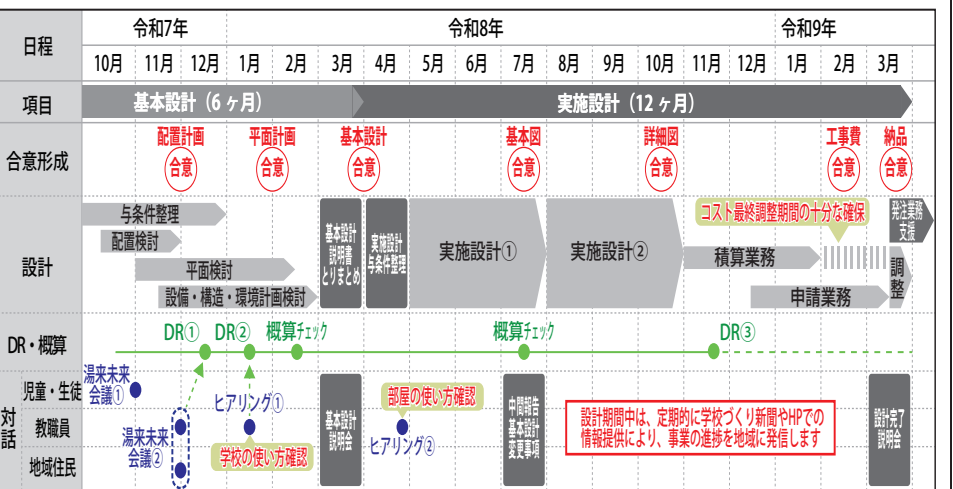
2学校教育活動と地域活動を両立する明確なゾーニング・セキュリティ計画

1多段階で様々な地域開放に柔軟に対応する、明確な開放区画

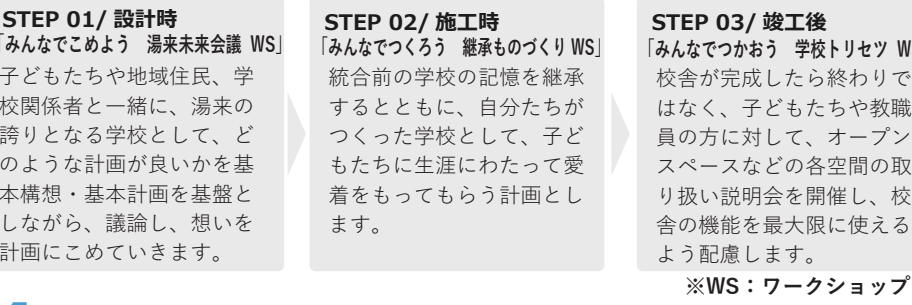


5” みんなでつくる学校”を実現する信頼性の高い設計プロセス

1コミュニケーションを重視した「対話型」設計

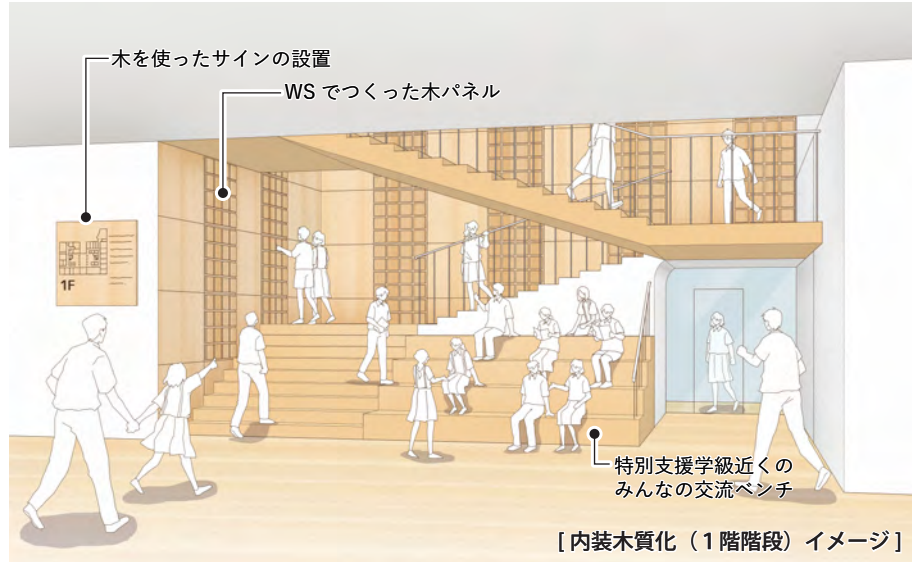


3地域住民・教職員・子どもたちと ともにつくる学校



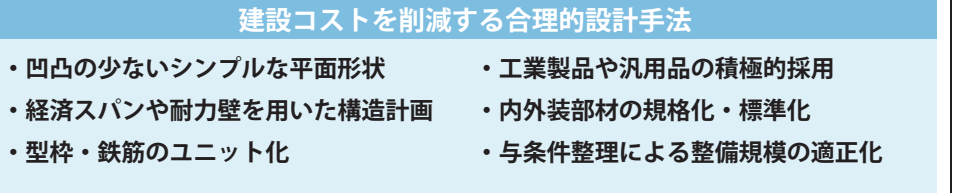
4自然に触れ、のびのび育つ学校

1木による健康的で温かみのある内部空間



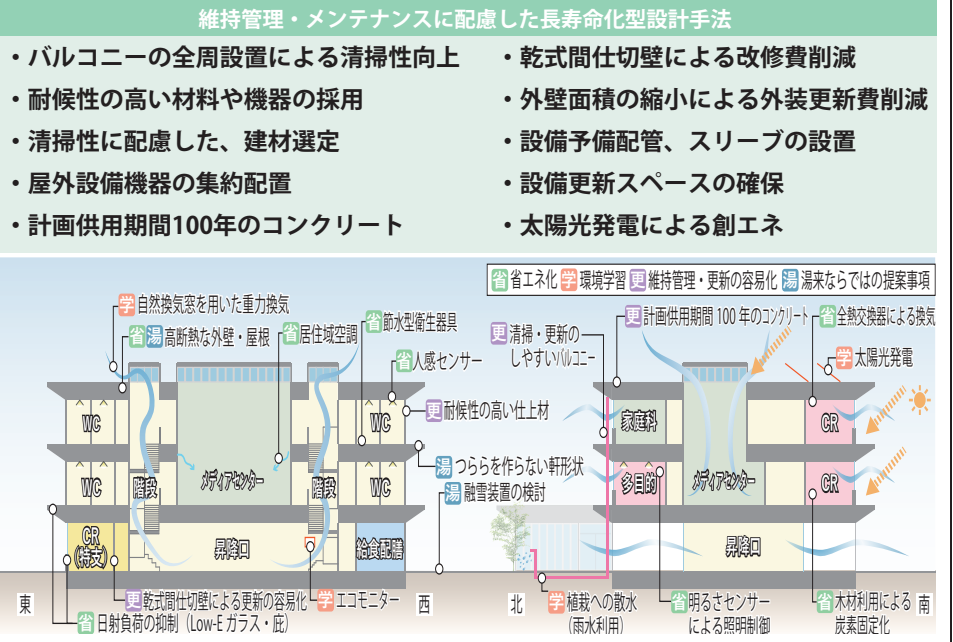
6物価上昇時代における適切な建設コストマネジメント

1豊富な手法を用いたコスト管理の徹底



7維持管理しやすく長寿命なエコスクール

1湯来の気候に寄り添った環境にやさしい長寿命な学校



特定結果

第一特定者